

令和4年10月27日

心臓血管内科でアブレーション治療を受けられた

もしくは受ける予定であったが中止された患者さん・ご家族様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】上室性不整脈(心房細動、心房粗動、心房頻拍、上室性発作性頻拍、接合部頻拍、心房性期外収縮)もしくは心室性不整脈(心室頻拍、心室性期外収縮、心室細動)に対して、2000年以降に当院にてカテーテルアブレーション治療を受けた方もしくは受ける予定であったが中止された方。

【研究課題名】上室性および心室性不整脈に対するカテーテルアブレーションの有効性・安全性に関する後ろ向き観察研究

【研究責任者】草野 研吾 心臓血管内科・不整脈科

【研究の目的】上室性もしくは心室性不整脈に対するカテーテルアブレーションの有効性及び安全性を検討すること。

【利用するカルテ情報・資料】

診断名、年齢、性別、身長、体重、血圧、心拍数、既往歴、家族歴、内服薬、理学所見、血液一般検査(白血球数、白血球数分画、赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数) 血液生化学検査(総蛋白、アルブミン、AST、ALT、総ビリルビン、直接ビリルビン、血糖値、HbA1c、TCho、LDL-C、HDL-C、中性脂肪、脂肪酸、クレアチニン、eGFR、シスタチンC、尿素窒素、尿酸、血清ナトリウム、血清カリウム、血清クロール、血清CPK、トロポニンT、ANP、BNP、凝固検査[プロトロンビン時間、活性化部分トロンボプラスチン時間、フィブリノーゲン、Dダイマー、凝固第Ⅹ活性、凝固第Ⅱ活性、FDP、vWF抗原量])、尿検査(定性ならびに尿Na、クレアチニン)画像検査(CT、MRI)、心臓超音波検査、心電図検査、電気生理学的検査、ホルター心電図、睡眠時無呼吸検査

【研究期間】 倫理委員会承認日より2025年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【外部機関への研究データの提供】

上記のカルテ情報を、次の研究機関に提供して、共同で研究を進めます。

・ 共同研究機関及び研究責任者

● 12 誘導心電図・ホルター心電図の解析

1. 東京大学医学系研究科 バイオエンジニアリング 佐久間 一郎
2. 東京大学医学系研究科 疾患生命工学センター 富井 直樹
3. 小倉記念病院 循環器内科 医師 高麗謙吾

● 画像解析

1. Leiden University Medical Center Katja Zeppenfeld（オランダ）
2. 東北大学大学院 循環器内科 木村義隆

● 解析アドバイザー

1. 日本大学医学部 循環器内科学 永嶋孝一

● 統計解析

1. 東海大学 医学部附属病院 併任 慶応義塾大学医学部 後藤信一

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 心臓血管内科

担当医師 宮本康二

電話 06-6170-1070(代表)